

金山駅は名鉄、JR 東海、市営地下鉄の合計3社局5路線が乗り入れており、名古屋駅に次ぐターミナル駅として一日の乗降客数が中部圏で名古屋駅に次いで2番目である。また、金山地域一帯は、1万年以上前にできた熱田台地に位置しており、縄文・弥生時代からこの地で人々の生活が行われていたことが遺跡から分かっており、歴史的にもポテンシャルが高い地域である。

1972年には名古屋市民会館、また、1997年には名古屋市音楽プラザが完成、1999年には金山南ビル内に名古屋バーストン美術館も開館し(現在は閉館)、金山地域には複数の文化施設が駅前に集積して文化・芸術の拠点となっている。上記施設に加え、2005年に開業したアスナル金山や連絡通路を含めた駅前の多くの場所が市有地であることも特徴と言える。

これらのことを含め、金山地区が名古屋地区、栄地区とは違ったより魅力を持った街になるための空間的な提案をしてほしい。それは大規模開発であっても良いし、街はそのまままちづくりのソフト提案でも構わない。金山の魅力をあなた自身が発見し、その魅力を増強するような提案を期待している。

第2回 建築系愛知16大学共通設計競技

金山の魅力を増強せよ!

参加資格 | 愛知県内の建築を志す大学生・大学院生。複数人、研究室単位での応募も可。教員指導を経たものも応募可。

事前エントリーを10月1日(木)までに1.氏名、2.所属大学、3.学年、4.代表者メールアドレスを明記して、事務局までメールすること。また、応募者は12月19日の公開審査に参加できること。

提出物 | 以下の条件をA2サイズ1枚にまとめ、下記提出先に郵送し、そのPDFデータおよび、3分以内でプレゼン

した動画ファイルを下記メールアドレスまで提出すること。※紙質は自由とするが、パネル、ボード類は使用しないこと。

・模型写真やパース等を駆使して、わかりやすい表現とすること

・金山地区の魅力を明記した設計主旨を400字程度

・裏面に事前エントリーの返信メールに書かれているエントリー番号を記載すること

審査委員 | 1次審査: 建築系愛知16大学共同企画展参加教員

2次審査: 松本直司(名古屋工業大学名誉教授)、印田達也(名古屋まちづくり公社 経営企画室長) 他

締め切り | 2020年11月20日(金) 当日消印有効 当日持ち込み不可

主 催 | 建築系愛知16大学共同企画展実行委員会

愛知県立芸術大学 / 愛知工業大学 / 愛知産業大学 / 愛知淑徳大学 / 金城学院大学 / 椋山女学園大学 / 大同大学 / 中部大学 / 名古屋芸術大学 / 名古屋工業大学 / 名古屋市立大学 / 名古屋女子大学 / 名古屋造形大学 / 名古屋大学 / 日本福祉大学 / 名城大学

共 催 | 名古屋都市センター

協 賛 | 総合資格学院

提出先・事務局 | 〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40

名古屋女子大学 南3-103 建築設計意匠研究室 岡村裕次宛

TEL: 052-852-9521

データ送付先 | okamura@nagoya-wu.ac.jp ※11/20(金)24:00締切

データが重い場合はファイル転送サービスを利用ください。

* 新型コロナウイルス感染症の状況により展示・プレゼンテーションの予定が変わることがあります。最新情報はFBページにて確認ください。

賞金

最優秀賞: 10万円

優秀賞: 1万円(5点)

2020年
12月19日(土)
最終審査@名古屋都市センター
13:00: ファイナリスト発表
13:00~16:30: 設計課題合同講評会
16:30: プレゼンテーション
18:00: 最優秀賞決定

18:30~: 2次審査審査員による
金山についての
トークセッション

